

中学生を対象とした公開講座「楽しい数学教室」を8月19日に本校で開催しました。

最初、奥間先生が指定された年月日の曜日を求める方法についての講義をしました。残念ながら証明をする時間がありませんでしたが、参加者は何年前（何年後）の日にちでも比較的簡単な方法で曜日を計算できることに興味を持ったようでした。

次に私が閉曲線に沿って歩いたときに何回転するかについての講義をしました。回転数と閉曲線の特異点というものの関係、多角形の内角の和の公式が閉曲線に拡張できることについての説明をしました。これについてアンケートで「何とも感じなかったことに関して数学を通して少し近づくことができよかった。」と答えてくれた参加者がいました。

数学は生活に直接役立つ技術ではないので、多くの人に支えてもらい発展するためには、数学者は数学の美しさや感動を伝えていく必要があります。短い時間でしたが今回の講座で少しこの目的を果たせたかと思っています。